



MITSUI & CO.



Energy エネルギー

藤原 弘達

エネルギー第二本部

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

基本戦略

01 競争力ある資産ポートフォリオの構築

02 中～下流・エネルギーValue Chainの展開

1点目は「競争力ある資産ポートフォリオの構築」

エネルギー市況が今後上下動していく中でも、継続的に収益貢献ができる下方耐性の強いポートフォリオを作る

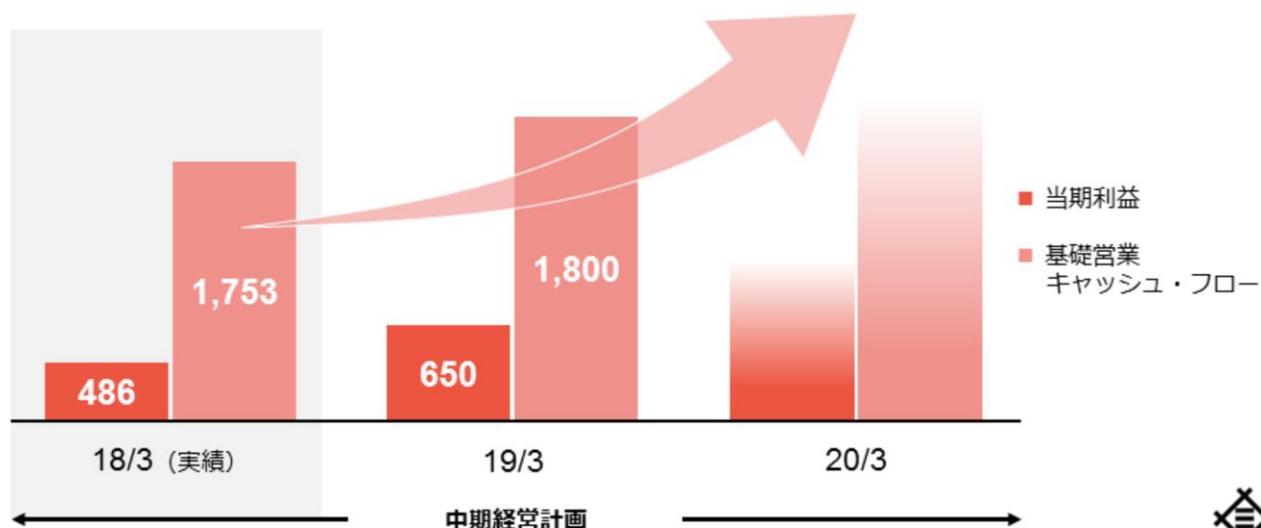
2点目は「中～下流・エネルギーValue Chainの展開」

当社参画事業からの生産物を中心とした有利販売や物流インフラの事業機会創出

。

定量目標 当期利益／基礎営業キャッシュ・フロー

単位：億円



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

3



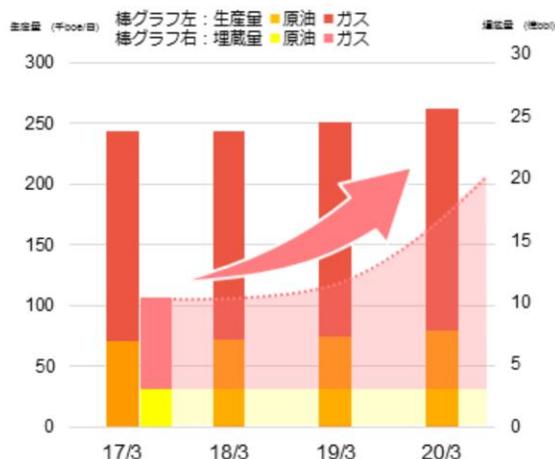
2019年3月期は、市況上昇の他、前期の一過性反動あり、増益。

2020年3月期では、開発中の案件が生産開始する事等により利益を積み増し金属資源・ITに-合わせて2,400億円の当期利益を計画。

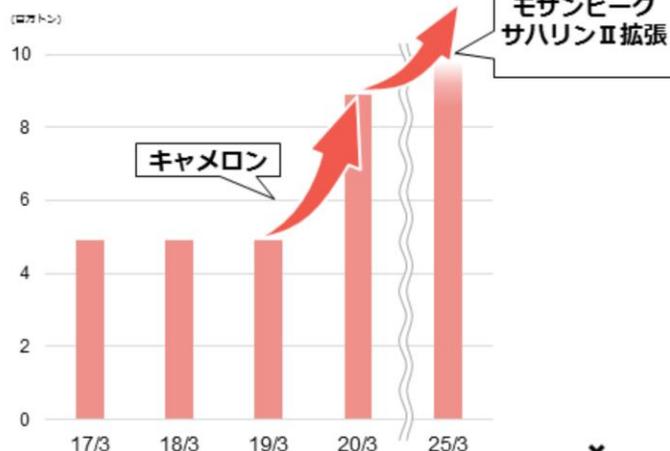
競争優位性 原油ガス持分権益生産量・埋蔵量・LNG生産能力

持分権益 生産量・埋蔵量

※埋蔵量はFID済みのプロジェクトのみ



LNG持分生産能力



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

4



生産量は緩やかな上昇を見込む。

埋蔵量は、モザンビークLNGプロジェクト以外の最終投資決断を主因に、2020年3月期にかけて大きく増加する見通し。

LNG持分生産能力は、足元では約500万トンの生産能力が、2020年3月期にはCameronプロジェクト外の立ち上げにより、約900万トン程度まで増加。

これは日本の年間輸入量の10%に相当。

環境認識

経済成長と人口増によるエネルギー需要の増加

化石燃料

主要な一次エネルギー源であり続ける

原油

需要が2030-40年に
プラトーとなるシナリオも

ガス

長期的に堅調な
需要伸長を見込む

**非化石燃料/
再生可能エネルギー**

社会的二ーズ拡大
コスト低下による普及

**時間軸を意識した資産ポートフォリオ・マネジメント
ガス事業の更なる拡充**

**再生可能・新エネルギーへの
取り組み**

1 競争力ある上流資産ポートフォリオの構築

E&P事業

◆ 豪州AWE社の買収

- ・ 資産ポートフォリオの拡充
2P埋蔵量82MMBOE（17年12月）、生産量2.5MMBOE（18年見通し）
- ・ オペレーター機能獲得

Waitsiaガス田

- ・ 2018年FID/2020生産開始予定(検証中)
- ・ 陸上ガス田で需要地/既存インフラに近く、価格競争力あり
- ・ 生産拡張や埋蔵量アップサイドの期待あり

E&P事業全体への
波及効果・
相互作用



Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

6



当社は20年来、豪州E&P事業を拡充、知見を蓄積してきた。
AWEが保有するWaitsiaは過去40年で発見された最大の陸上ガス田。
獲得したオペレーター機能でグローバルベースの機能強化と価値向上を図る。

1 競争力ある上流資産ポートフォリオの構築

LNG事業

◆ モザンビーク Area1

巨大な資源量

日本の天然ガス消費量の

15年分以上に

相当する約75tcf

低いEntryコスト

探鉱段階から参画
(約10年前)

- 年産1,200万トンで2020年代初頭生産開始予定、更なる拡張余地あり
- 長期的な安定供給と収益貢献を期待



近年の新規開発ガス田としては世界最大規模。当社は10年前からAnadarko社と共に事業化に尽力。昨年LNG特別法が成立、液化プラント建設予定地の住民移転も開始、今年2月には開発計画承認、FIDに向けて着実に進捗中。

2 中～下流・エネルギーValue Chainの展開

エネルギー
Value Chain

◆ キャメロンLNG

- ・ 当社LNG取扱数量 **年間400万トン*アップ**
*約1,200万世帯が1年間に使うガスの量
- ・ 自社LNG船7隻を活用したグローバル・トレーディング



米国ルイジアナ州のCameron LNG[®]プロジェクトは2019年の生産開始に向けて液化設備を建設中。

当社は他パートナーと共同で福島県相馬市に新設ガス火力発電所を立ち上げる計画であり、当社権益LNGを供給し、電力販売に繋げる方針。

世界的にLNG需要増加が見込まれる中、中下流のValue Chain展開を図る。

今後のパイプラインプロジェクト



原油案件としては、1年前倒しで生産開始を発表した米国メキシコ湾のKaikias。中経期間中に生産開始を予定している西ヨーロッパ最大のイタリア陸上油田Tempa Rossa、西豪州沖合のGreater Enfield。

LNGはロシアのサハリンIIの第三系列、西豪州Browsガス田を推進中。両案件ともに既存設備を活用してコスト競争力あり。